

入善町 議会だより

発 行 者

富山県入善町議会

TEL 0765-72-1100

発行	入善町議会議長 嶋田久之
編集	入善町議会だより編集委員会
印刷	池原印刷所



第4回町議会定例会



議会議員 嶋田久之

創刊に当って

町民の皆様、昨年の改選以来五ヶ月が経過致しました。その間議会に対して大きな期待がかけられて参りましたが、議員一同真剣且つ謙虚な感じて受けとめております。

とりわけ、「きれいで、ゆたかで、生きがいのある公開都市」を創造するために、町議会と町当局が各々その全力を出し切って欲しい、ということには町民全部の方々の願いと肝に銘じております。

私たちは昨年十一月五日第一回町議会に於て議会の組織を構成して以来、「地方自治は民主主義の基盤であり、単位である」を念頭に皆様の望んでおられる事柄を出来る限り多く感じ取り、議会の品位を高める事を第一義として活発な活動を展開し、四年間の任期を真に実の有るものにしなければならぬ、と機会あるたびに語り合って参っております。

その一環として、八名の委員から成る議会運営委員会を設け、一層秩序ある議会運営を推進して、行政の多様化に対処して行くことにしたのをはじめ、年四回開かれる定例会ごとに、「議会だより」を発行して、皆様にお届けする事に致したのであります。

本来私たちは、適当な機会を得て皆様方に町政及び町議会の報告をするのを理想としておりますが、その一助として議会活動の記録として本誌をお送りするのでございます。勿論限り有る紙面でありまして、要点的記録になりがちですが、今後とも出来るだけ要領良く核心を捉えた記述が出来るように心を配って参りたい、と念願しております。

この「議会だより」を通して、皆様の選良が学習し行動して下さる様子を理解して戴きますと同時に、明日の入善町を建設するための適切な助言が数多く寄せられますことを、心待ちに致すものであります。

最後に皆様の御健康を祈念し、「議会だより」が皆様の心と議会の心をつなぐ、何物にも優る「きづな」の役目を果たすよう御協力をお願い申し上げます。創刊の辞と致します。



提案理由の説明をする柚木町長

総額二十九億一千六百三十九万五千円にのぼる町予算が原案通り多数決で可決された。

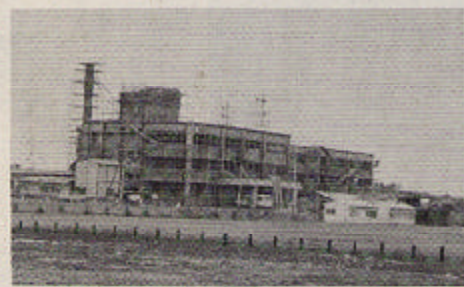
これは前年度と比較すると四十一・二%増の大型予算であり、入

三月定例議会

二十三億円予算(一般会計)を可決

議宅地の五特別会計予算、入善町

柚木町政才二期最初の三月定例会は三月八日開会、二十日まで延べ十三日間に亘つて開かれた。町長の公約にもとづく住民福祉と住民参加の積極的な施策もいくつかが織りこんだ当初予算二十三億六千三百万円は原案どおり可決されたが農村総合モデル事業、統合西中学校の建設、入善漁港の拡充、離岸堤の構築、医療費の公費負担、ゴミ収集区域の拡大、コミュニティづくりの援助、需要抑制の中にあつての健全財政と積極的行政が期待される。



建設中の西中学校

柚木町長提案理由説明(要旨)

善町総合計画に基づく三大目標を柱にして編成されている。提案理由説明の中で町長は、無投票当選の光栄を得て身のひきしまる思いであり、町政の運営に当つては住民参加の基本姿勢を貫く。予算は総合計画との取り組みを重点に

千万円、豊かな町づくりのための道路整備と産業振興対策に七億一千八百万円、生きがいのある町づくりのため社会福祉と教育文化施策に九億一千万円を計上すると同時に、各施策の円滑な実行と住民サービス強化のため、大幅な機構改革

と述べた。

町の木……いぶし



課設置条例、入善町消防団条例、入善町税条例、入善町国民健康保険条例、入善町保育所条例、入善町心身障害者医療費の助成に関する条例、入善町重度精神薄弱児福祉年金条例の改正など二十四件、入善町保健施設条例制定外一件、入善町じん芥焼却場設置条例の廃止外一件はいずれも原案どおり可決され、請願十六件のうち十四件陳情三件のうち二件採択された。

三月定例議会のあらまし

●定例議会の経過と会議の内容は次のとおりであります。

オ一日 三月八日(金)

午後一時六分から本会議を開会し、会議録署名議員に上田義信議員野島正一議員の二議員を指名し、続いて会期を三月八日から二十日までの十三日間と決定いたしました。

オ二日 三月十三日(水)

午後一時十三分本会議を開き昨日に引続き町政全般に対する質問(六人)が行なわれ次いで追加議案一件請願陳情各々一件が上程され上程全案件の質疑が尽くされ議案三十七件議員提出議案一件請願十五件陳情三件をそれぞれの関係常任委員会に付託し休会中に専門的な審査をなすこととし、午後四時二十分散会しました。

オ四日 三月二十日(水)

午後一時三十分本会議を開き報告事案一件を了承し議案オ六号ないし議案オ十二号並びに議案オ十五号ないし議案オ四十四号昭和四十九年度入善町一般会計予算ほか三十六件議員提出議案一件請願十六件陳情三件に対し委員会の審査結果を各委員長報告を終つて討論が交わされ委員長報告どおり可決しました。尚請願一件陳情一件が上程され即決されました。午後三時六分第四回入善町議会定例会を閉会いたしました。

オ二日 三月十二日(火)

入善町議会組織

◆昭和四十八年十一月五日第一回臨時議会で組織された議会展員と各常任委員会委員

議長 嶋田久之 副議長 藤田秋義

○議席番号

- 1 杉沢長作 2 岩場 俊
- 3 真岩 幸作 4 上島 藤吉
- 5 福沢 万次 6 上野 幸一
- 7 上田 義信 8 野島 正一
- 9 前田 勇作 10 金田 利一
- 11 小林 与三雄 12 長島 啓太郎
- 13 米島 一信 14 三賀 しさい

町道の舗装について請願ほか二十八件採択

昭和四十八年(十一月)第三回定例会に於て閉会中の継続審査として常任委員会に付託となった請願九件陳情四件昭和四十九年(三月)第四回定例会に新しく提出された請願十八件陳情三件は担当の委員会が議案の審査と併行して行ない慎重に審査をした結果二十八件は採択二件は不採択四件は継続審査とすることになりました。

採択となった請願陳情は次のとおり
(第三回定例会提出分)
○町道の舗装について請願 (提出者)入善町青木町組区長

○文教厚生常任委員会

- ◎三賀しさい ○石川 昭男
- 福沢 万次 上野 幸一
- 長島 啓太郎 米島 一信
- 藤田 秋義 谷 雪枝

○産業建設常任委員会

- ◎小林与三雄 ○真岩 幸作
- 野島 正一 前田 勇作
- 五十里 浅吉 岡島 松太郎
- 柏原 三郎 坪野 利揚

○監査委員

- 米島 一信

○農業委員会委員

- 金田 利一

○新川広域圏事務組合協議会議員

- 長島 啓太郎 嶋田 久之 上田 義信
- 野島 正一 小林 与三雄 柏原 三郎
- 谷 雪枝

◆その他

○議会運営委員会委員 (兼議会だより編集委員)

- 嶋田 久之 藤田 秋義 金田 利一
- 三賀しさい 小林 与三雄 上野 幸一
- 柏原 三郎 福沢 万次

○黒東地域議員協議会役員

- 理事 嶋田 久之 藤田 秋義
- 上野 幸一 野島 正一
- 前田 勇作 金田 利一

○黒東地域合併協議会委員

- 長島 啓太郎 嶋田 久之 上田 義信
- 野島 正一 小林 与三雄 柏原 三郎
- 谷 雪枝

表 上田初郎

○児童遊園地の設備充実方陳情 (提出者)吉原第一区区长

東原宝一外三名

(第四回定例会提出分)

○福島季節託児所防壁設置に関する請願 (提出者)福島地区部落長

森田清作

○町道舗装方請願 (提出者)芦崎総代

伊野清作外四名

○町道の舗装について請願 (提出者)青木町組区長

広島秀二外五名

○町道の舗装について請願 (提出者)青木柴垣区長

議 会 日 誌

昭和48年

▼10月 議員全員協議会

31日 議員全員協議会

▼11月 議員全員協議会

5日 才1回町議会臨時会

7日 町村議会議長会全国大会

12日 新議会議員予算説明会

16日 議員全員協議会

20日 能生町建設特別委員会

21日 視察来町

25日 下新川郡議会議長会臨時総会

26日 長野県坂城町議会議員視察来町

27日 議会議事委員会

28日 29日 新川広域圏議会

石川県方面事業所視察

▼12月 文教厚生委員会

7日 新川広域圏議会

10日 産業建設委員協議会

12日 総務委員協議会

13日 議員全員協議会

18日 才3回町議会定例会

(才1日)

19日 才3回町議会定例会

(才2日)

20日 才3回町議会定例会

(才3日)

23日 新川広域圏東部清掃セ

請願陳情の審査結果

○簡易水道の助成に關し請願 (提出者)入善町福島第三水道

組合長 松島久作

○簡易水道の助成に關し請願 (提出者)小摺戸第九区外水

道組合長 松岡文雄

○舟場斜路設置に關する陳情 (提出者)横山漁業協同組合長

理事 亀田正一

○簡易水道新設事業に対する助成方陳情 (提出者)上田簡易水道組合代

方陳情

○町道の舗装について請願 (提出者)入善町目川区长

杉沢正雄外二名

○入善町養豚組合の振興助成に關する請願 (提出者)入善町養豚組合長

永井康昌外二名

○簡易水道新設事業に対する助成方請願 (提出者)入善町酪農農業協同

組合長 竹内行雄

○酪農組合施設近代化に対する助成方請願 (提出者)入善町酪農農業協同

組合長 理事 大田元長

○簡易水道新設事業に対する助成方陳情 (提出者)上田簡易水道組合代

方陳情

西川敏雄外四名
○簡易水道新設補助に関する請願

(提出者)青木栄垣水道組合代表
表 西川敏雄外三名

○町道の舗装について請願
(提出者)青木上村区長

松沢孝男外一名
○簡易水道の助成に関する請願

(提出者)東狐国道筋水道組合代表
長 細田太次郎

○簡易水道新設事業に関する助成方請願
(提出者)道古中組簡易水道組合代表
島先明一

外二十二名
○町道の舗装について請願
(提出者)青木中南区長

今井清秀外二名

○町道の舗装について請願
(提出者)青木上村区長

杉沢孝男外一名
○入善町八幡二号線道路整備並びに入善町横山青島用水線道路舗装について請願



簡易水道さく井状況

(提出者)八幡第一区区长
辻田朝悦外七名

○田茂川左岸海岸災害復旧促進方請願
(提出者)下飯野部落総代表
塚田吉松外六名

○簡易水道建設に助成金交付方請願
(提出者)岩栗新

城崎将雄外二十九名
○橋梁建設に関する請願
(提出者)戸崎総代表

伊野清作外四名
○簡易水道新設補助に関する請願
(提出者)上飯野西部水道組合代表
島尻秀次外一名

○簡易水道新設補助に関する請願
(提出者)共栄水道組合代表
上島由松

○し尿汲取の適正料金について陳情
(提出者)有限会社黒東衛生代表
表 取締役上田和男

○木根海岸堤防の災害復旧について陳情
配慮する。

公債比率は引続き七割台を堅持出来るので財政計画は健全である。

五十里議員の関連質問に対する

町政全般に亘る質問



上野議員

町長の政治姿勢をたず

一、再選後の町長の政治姿勢を問う
二、総需要抑制の国策に依り町の財政計画に大きな変化を及ぼすようなことはないか、また引続き健全財政を堅持出来るか。

され深い感銘を受け身の引きしまる思いである。但し、多くの批判もある事を充分承知している。今後は「町民総参加」の行政を推進して行く決意であり、議会の全面的協力と支持をお願いする。

一、一般経常費の節減を図り、投資的経費の増額に全力を傾ける。顧みると過去の四年間に積極的に事業を執行して良かったと思う。西中学校の建設などは計画通り進めると同時に小規模事業にも充分



金田議員

上原地区の圃場整備を促進せよ

一、入善町運動公園の代替地などを解決するためには、上原地区の圃場整備事業を促進する必要がある
二、スローバー農道に通ずる上原縦断

線を圃場整備事業と併行して拡幅又は新設する意志はないか。
町長 二、運動公園用地が確保出来たのは地元の方々の協力の賜物であり感謝にたえない。代替地問題を解決するため、圃場整備事業の促進を強力に中央へ陳情している。



議員研修会

て陳情
(提出者)木根地区区长
小林正男

不採択となった請願陳情(二件)
○インフレによる庶民貯金の目減りを国に賠償させる決議を要請する請願

○旧入善町商工会館存置方について陳情
継続審査となった請願陳情(四件)

○一月二日、三日ならびに祝日の郵便配達廃止に関する決議採択について請願

○物価異常高騰に伴う救済対策について請願

○離岸堤設置に関する陳情
○吉原漁協に取納代理機関の指定について請願

市街地の下水用水の改修には、県費補助などを得て計画的に実施して行きたい。

答弁

充分考慮させていただきたい。

昭和49年
ンター竣工式

- 1月
- 14日 文教厚生委員会
- 18日 産業建設委員会
- 19日 総務委員会
- 22日 黒東地域議員協議会役員会
- 2月
- 6日 議会運営委員会
- 12日 黒東地域議員協議会総会
- 15日 町村議会議長会臨時総会
- 25日 議員全員協議会
- 愛媛県三間町議会視察来町
- 議員研修会
- 講師 富大 菅野教授
- 26日



柏原議員

職員の採用試験

制度を活用せよ

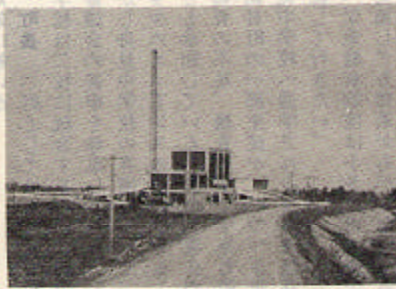
一、職員の採用試験制度を活用し、役場の購買品や小規模な仕事なども、多くの業者に公平に納入させるようにすべきでないか。
 二、富山日本電気の作業工程を検討すると、毒物薬品の使用が推定される。監視体制は確立しているか。
 三、農業に対する所見と、米価問題に対する姿勢を問う。

町長 一、採用試験制度には賛成である。然し私が町長に就任する以前から水く臨時職員として勤務している人達を、本年度採用したので了解して欲しい。物品などは価格の競争に依って売買されるものであり、単に町内のものでさえあれば良いとは思わない。
 二、富山日本電気は、無騒音無煙の工場である。有毒物の取締りは富山県の監視に委ねている。現在は心配ない。
 三、入善町は農業の町である。食糧不足の情勢下で農業が見直されていることもよく承知している。米

価の問題は大きな論議を呼ぶと思うが、大体五割程度の引上げになると考えられる。

再質問に対する答弁

一、入善町長は誰よりも米価問題に真剣に取り組んでいるといわれるように、出来る限りの支援をする。
 二、富山日本電気は、大企業の中では特に公害対策に真剣に取り組んでいる企業である。
 三、臨時職員の採用に当たっても試験は実施する。明年以後は採用試験制度が実施出来ると思う。但し成績のみに頼らず家族関係や人柄なども考慮するつもりである。また物品を購入するに当たっては少くとも、四乃至五業者で入札させる方法を採用している。



東部清掃センター

海岸工食用農道は舗装せよ



米島議員

一、家庭からの廃棄物の収集区域を拡大することは結構だが、各家庭で簡便に焼却する施設や、収集までの一時的置場に補助を考慮していいないか。
 二、町内幹線水路の江切りなどを完全に行うため、機械の購入を計画すべきである。
 三、海岸工事のために農道が使用され、損傷著しいものがある。舗装すべきである。

町長 一、ゴミ置場の用地は買取又は補助はしない。家庭用焼却炉については検討すべきであると思ふ。
 二、専用駐車場の廃止は今の時点では考えていない。専用駐車場の使用料合計約五十万円を基金にして近い将来全面舗装を考慮している。また所有者不明の自動車は放置されていることがあるので利用者の自覚を促す。
 三、専用駐車場の廃止は今の時点では考えていない。専用駐車場の使用料合計約五十万円を基金にして近い将来全面舗装を考慮している。また所有者不明の自動車は放置されていることがあるので利用者の自覚を促す。

ゴミ収集を積極的に実施せよ



本田議員

一、ゴミ収集区域の拡大が公約されているが収集回数などをききたい。
 二、中央駐車場の専用駐車場を廃止できないか。
 三、社会教育専門委員を設置すべきでないか。

町長 一、東部清掃センターの開設と併行して、普通ゴミは町部では現行通り、村部で週二回、不燃焼物は町部で月二回、村部では月一回行う。収集車一台を更新一ヶ増設、整備員を十名から十四名に増員する。
 二、専用駐車場の廃止は今の時点では考えていない。専用駐車場の使用料合計約五十万円を基金にして近い将来全面舗装を考慮している。また所有者不明の自動車は放置されていることがあるので利用者の自覚を促す。
 三、社会教育専門委員、公民館運営審議会、スポーツ運営審議会が設置されているので専門委員の設置は考えていない。県の社会教育主事が出向して下さること、が確実になっているので、一層社会教育が充実され推進されるものと思ふ。

第四回町議会定例会

昭和四十九年三月八日

提出案件

- 議案第一号 昭和四十八年度入善町一般会計補正予算(第五号)
- 議案第二号 昭和四十八年度入善町国民健康保険特別会計補正予算(第四号)
- 議案第三号 昭和四十八年度入善町簡易水道特別会計補正予算(第三号)
- 議案第四号 昭和四十八年度入善町土地取得特別会計補正予算(第四号)
- 議案第五号 昭和四十八年度入善町分譲宅地特別会計補正予算(第一号)

- 27日 広域協議会議員協議会
- 28日 広域協議会
- 3月
- 8日 議員全員協議会
- 8日 4回町議会定例会
- 9日 議会運営委員会
- 12日 4回町議会定例会
- 13日 4回町議会定例会
- 14日 文教厚生委員会
- 15日 産業建設委員会
- 18日 総務委員会
- 20日 4回町議会定例会



野島議員

組合立舟見中学校の

存続について所信を問う

舟見地区を中心とした周辺地区の事情などを考慮した場合、組合立舟見中学校の存続は是非必要と思うが、町長の方針は如何か。
三中小企業に対し、緊急融資制度を新設せよ。
三舟見地区市街地の幹線道路の除



小林議員

上水道の

見通しはどうか

一、農業用資材の値上りの抑制と米価値上げに行政面でどんな努力をするのか。
三上水道の見通しはどうか。また電力会社の責任放水量や簡易水道の補助について説明を求め。
三小指戸小学校附近の車輛のスピード制限を実施出来ないか。

雪順序と冬季間の浸水を根絶する対策は無いか。

町長 一、町としてはあくまで中学校は二校に統合するという統合審議会の答申を尊重している。しかし舟見中学校の存続については、多少のニュアンスの違いがあることも承知している。また、現在の物資の不足、騰貴の中で宇奈月町朝日町の一部生徒が、引つづき舟見中学校へ通学されるなら当然存続して行きたい。
三緊急融資制度は小さな自治体が実施しても効果があがらない、当

町長 一、入善町の農家の農業収入が平均約五十万円であったがインフレのため実質三十八万円に下がったと推定される。農機具が五十七%、農薬が十七%、農業用燃料が四十五%上昇している状況下で、今年の米価決定は大問題であると思ふ。農業団体だけではなく、自治体の問題として私も努力する。
三放流には灌漑用水の放流と漁業放流と二つの契約がある。また責任放流と責任放水量という言葉を使っているが、各用水、本流ともに水量を充分確保できるように指導して行く。簡易水道の補助は上水道完成まで続けて行く。上水道計画は町の総合計画では昭和五十一年度を目標としているが、これは

然国が実施すべきものである。

建設課長 三除雪計画については多少の問題が生じているが今後十分検討したい。浸水についても上流の原因を調査し改善するよう努力する。また下流については、県当局とも充分協議しているので四十九年度中に改良されると思う



組合立舟見中学校

道路舗装の見通しはどうか

町長 一、従来簡易舗装施設は廃止する。町道の延長約二百九十キロに主幹農道を合せると約五百キロあるが農村総合整備モデル事業で六十キロ、農道舗装で七十キロ町単独事業で五十キロを今後五年間で消化したい。すでに実施した七十キロを合せて約半分が舗装されることになる。尚現在の町道及び農道舗装率は県内最高であり、農道舗装は債務負担行為で負担金を肩代りして行う。
三ストパー農道は第一期工事は着工しており黒部川から朝日町までは第二期工事である。今年度着工し得るよう関係上局へ陳情をつづけているので採択は間違いないと思ふ。



藤田議員

宇奈月ダムからの取水となつてい。実現のため今年から調査を開始することにしてはいる。
三警察ともよく相談して交通安全対策を進める。小学校附近は四月一日から制限する。

地方自治格言

○地方自治は政治の良き実験場である。良ければ他が見習い、悪ければそれを以て戒めとする。
○自由な自治体を持たぬ自由な国は無い。

- 議案第六号 昭和四十九年度入善町一般会計予算
- 議案第七号 昭和四十九年度入善町国民健康保険特別会計予算
- 議案第八号 昭和四十九年度入善町簡易水道特別会計予算
- 議案第九号 昭和四十九年度入善町武村福祉会館特別会計予算
- 議案第十号 昭和四十九年度入善町土地取得特別会計予算
- 議案第十一号 昭和四十九年度入善町分譲宅地特別会計予算
- 議案第十二号 土地取得について(運動公園・沢杉林・西公園)
- 議案第十三号 入善町課設置条例全部改正について
- 議案第十四号 入善町職員定数条例一部改正について
- 議案第十五号 入善町議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例一部改正について
- 議案第十六号 入善町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償支給条例一部改正について
- 議案第十七号 入善町長等の給料その他給与及び旅費支給条例一部改正について
- 議案第十八号 入善町職員等の旅費に関する条例一部改正について
- 議案第十九号 入善町の職員の給与に関する条例一部改正について
- 議案第二十号 入善町の一般職の職員等の特殊勤務手当に関する条



前田議員

黒部川右岸の

水利権を強調する

一、昭和五十年から黒部川に多目的ダムや、笹平ダムが着工されるというが、右岸の水利権は入善町のものであり、これを強調する必要がある。

二、町営火葬場の建設を急げ。

三、北陸自動車道についての所見をききたい。

町長 一、多目的ダムを宇奈月地内に着工する計画はあるが、建設省ではまだ結論が出ていないようである。笹平ダムについては、国家的見地に立って充分話し合う必要があるが流域変更を伴うから問題がある。発電後再び本流に水を返すなどの方法が考えられている。水利権は強調して行く。

二、東部清掃センター隣接地に建設出来るよう、朝日町地元の方々と了解を取りつきたい。計画は工費七千二百万円、三基、無煙無臭であり、斎場及び待合室を含んでいる。

三、町内を画断して通過するので、

高架道路を要請している。上越方面が未定のため入善町としてはまだ話し合いに入っていない。



岩場議員

地方超過負担を

解消できるか

一、政府は地方超過負担の解消、公立文教施設などの建設補助単価の大幅引上げを決定しているが、町予算に生かされているか。

二、民生安定策の一助として、学校給食費の補助を引上げ、保育所の保育料の軽減を図る意志はないか。

町長 一、国の定める基準よりも良い施設にするために超過負担が生ずることになるが、本年度町予算に盛り込まれている意欲を以って諒とされたい。また今後は、国の基準が現状に見合うものを取入れて行きたい。

二、給食費補助は増額する考えはない。保育料は厚生省の基準があり町の意志で減額することは困難である。



真岩議員

入善海岸の浸蝕対策を質す

一、浸蝕防止の具体策と、防湖林計画を達成するため用地買収費を建設省と同一価格に出来ないか。



横山海岸離岸堤



浜田議員

黒東地域の合併を質す

一、入善港の港口閉塞を完全に防止する具体策があるか。

町長 一、横山海岸に離岸堤一基を新設するほか、入善海岸全域を海岸保全地域に設定して副堤を建設することを建設省が計画している。これに伴ない、町は副堤の内側に防湖林の設定を計画し推進する。用地価格は建設省のようには坪当り千円は困難だが、五百円程度で買収出来れば幸いだと考えている。

二、港口閉塞の現象は将来も続くものと思われる。防止のための技術的解決はすべて、農林省の技術担当官の指示に従う方針である。

一、朝日町との合併について具体策があるか。

二、生涯教育を振興するため地区公民館と社会教育指導者の充実を図れ。

三、沿岸漁業振興策として横山海岸に船揚斜路を設置せよ。

町長 一、両町議会の大多数の意見が合併支持に成った場合、或いは両町住民の間に合併促進の気運が昂揚した時は、直ちに話し合いを開始する。合併に依る功罪両面については慎重に検討する。

二、教育委員会の中に社会教育課を新設し強力に推進して行く。

三、横山海岸の離岸堤の所に出来た砂浜に建設出来るか否かを研究させていたきたい。

例一部改正について

議案第二十一号 入善町消防団条例一部改正について

議案第二十二号 入善町税条例一部改正について

議案第二十三号 昭和四十九年度分固定資産税の納期の特例に関する条例制定について

議案第二十四号 入善町国民健康保険条例一部改正について

議案第二十五号 入善町母子療養所条例全部改正について

議案第二十六号 入善町保育所条例全部改正について

議案第二十七号 入善町児童館条例一部改正について

議案第二十八号 入善町老人憩の家条例一部改正について

議案第二十九号 入善町保健施設条例制定について

議案第三十号 入善町心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正について

議案第三十一号 入善町簡易水道事業の設置等に関する条例一部改正について

議案第三十二号 入善町じん芥焼却場設置条例廃止について

議案第三十三号 入善町国民健康保険条例の一部改正について

議案第三十四号 入善町廃棄物の処理及び清掃に関する条例一部改正について

議案第三十五号 青年学級の開設



谷 議員

人材の抜擢を考えていないか

一、機構改革に当って人材の抜擢を
考え通材、適所に配慮すべきでな
いか。

二、働く婦人の家などの設置を考慮
しながら社会教育活動を進めよ。

町長 一、今回の機構改革を機会
に通材を適所に配慮し、課の性格
人員配置に意を用いた。

三、働く婦人の家や青年技術研修セ
ンターは入善町の規模では無理な
ので、中央公民館をはじめ地区公
民館を利用する形で十分に配慮し
たい。

健康センター



町長 一、社会教育を充実するこ
とに依って、家庭内に「老人を大
切にする」というモラルを確立す
べきである。また保健婦ステーション
を充実し、保健婦の家庭訪問
を通して老
人の健康管
理に力を注
いで行きた
い。

野中保育所の改築

見通しはどうか

一、老人医療無料化に伴ない、家庭
内に問題が起きているが対策はあ
るか。

二、野中保育所改築の見通しはどうか。

三、農業者年金制度を婦人に適用で
きないか。



三賀議員

議会に補正予算を計上しフェンス
等を整備したい。

一、農業者年金は「土地を所有する
働く農業者」を対象にしているの
で、主人に代って農業を営んでい
る婦人でも土地を所有しない場合
は対象にならない。

再質問に対する答弁

一、老人医療無料化に伴う乱診対策
としては、先づ老人福祉の基本精
神を理解していただき、受診者、
診療者の両者共々に協力願うよ
うに努力する。

町長 一、公害防止協定の対象と
なるような企業が無いので考えて
いない。公害対策が後退している
というような事はないし、調査は
県の機関に依頼している。中部衛
生センターの臭気については、新
川広域圏議会へ充分意見を伝えた
い。

三、非常勤館長一名、助手一名を配
置し教育委員会が管理する。広域
圏内の二十五才未満の者が利用す
る。

勤労青少年ホームの
管理を問う

一、企業との公害防止協定をどうす
るか。公害の調査をどこに依頼す
るか。中部衛生センターの臭気な
どの対策はあるか。

二、新設される勤労青少年ホームの
運営管理はどのようにするか。

三、農業後継者育成の方策はあるか。

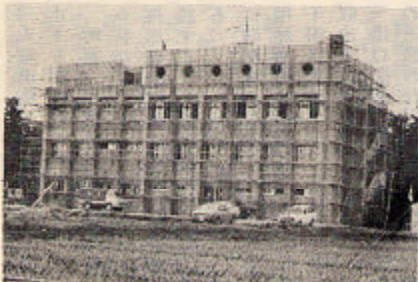
町長 一、公害防止協定の対象と
なるような企業が無いので考えて
いない。公害対策が後退している
というような事はないし、調査は
県の機関に依頼している。中部衛
生センターの臭気については、新
川広域圏議会へ充分意見を伝えた
い。



改築が待たれる野中保育所



石川議員



完成近し勤労青少年センター

について

議案第三十六号 入善町営体育施設
条例一部改正について

議案第三十七号 入善町武村福祉
会館条例一部改正について

議案第三十八号 入善町工場誘致
条例廃止について

議案第三十九号 町道路線の認定
(廃止)について

議案第四十号 字の区域の変更に
ついて(舟見、飯野地区)

議案第四十一号 入善町重度精神
薄弱児福祉年金条例の一部改正に
ついて

議案第四十二号 新川広域圏事務
組合勤労青少年ホームの管理事務
委託に関する規約制定について

議案第四十三号 字の区域の変更
(廃止)調書の一部訂正について

議員提出議案第一号 入善町議会
委員会条例一部改正について

承認第一号 専決事項承認につい
て(専決処分第一号工事請負契約
一部変更)

同意案第一号 固定資産評価審査
委員会委員の選任について

請願 陳情

○請願第一号 福島季節託児所防
護柵設置に関する請願

請願第二号 町道舗装方請願

請願第三号 町道舗装について請
願

請願第四号 町道の舗装について
請願

請願第五号 簡易水道新設補助に
ついて

ることになってはいるが、幅広く考
えて行きたい。なお使用料は不要
である。

三農業後継者はほとんど無いが、
農家の後継者はいる。漁業につ
いては採算の取れる形でないが無理
なようである。商業の後継者は心
配無い。農業祭の開催については
今後相談を進めたいと思う。



上田議員

交通安全対策の

強化について

一交通関係交付金の使途はどのよ
うになっているか。

二市街地用排水を常に清潔に保つ
ための具体策はあるか。

三新川経済圏と糸魚川経済圏との
中間にある入善町をどのように発
展させるか。

町長 一「道路整備に関する費
用に当てなければならぬ」と規
定してあるもの四千九十三万円と
「交通安全対策に当てなければな
らない」と規定されているもの一
千万円の合計五千九十三万円はそ

れぞれ趣旨に従い町費を補足して
事業費に計上してある。

二市街地の下水排水の不備が目だ
つのは無計画に住宅が建てられた
区域であり、これを改善するのは
困難である。今後は建築確認申請
の時点で指導を強化する。環境衛
生の面では、住民と協力して改善
を行う。

三糸魚川経済圏は明らかに富山県
の経済圏である。それに最も近い
新川経済圏の中の入善町が、その
中核となるような町づくりを進め
たい。



上島議員

農業の振興に今後どんな

方策が考えられるか

一農業機械や施設に様々な補助金
を出すことで農業の振興は出来な
い。稲作前後の農作物の調査など
を進めているか。

二統合西中学への通学道路の措置
は万全であるか、また新屋地区の
協力体制はどうか。

町長 一「農業の振興対策は大変
むづかしい問題である。基盤整備
構造改善の事業は勿論、新たに農

村環境整備事業を積極的に進める
また米作はじめ、畜産、園芸など
既存作目の育成に二層力を入れた
い。

二通学路全部が決定していないが
成案はある。通学路の舗装に対す
る地元負担は今後の課題として行
政全般から見ても協議したい。国道
八号線横断の上原地内地下道は建
設者とほぼ話し合いが済んでいる
が、約八百万円の町費負担が必要
である。通学区域のことで新屋地
区住民との間に問題はないが東中
学校建設の時点で弾力的に考えて
見たいと思う。



建設中入善漁港

労働力の確保はできるか

一機械工業団地、新和工業、富山
電気など工場誘致が成されたが、
各企業の労働力の確保は出来るか
三物価高の状況下で、建設事業費
のスライドを考慮しているか。

町長 一「労働力の確保は今のと
ころ大丈夫である。富山日本電気
の場合は現在町内企業に勤務して
いる人は採用しない約束になって
いる。新和工業福島工場の操業は
五十一年の年末に予定されている。
二西中学校の場合はスライドする
がその他運動公園などはスライド
の必要がない。



西島議員



新装になった商工会館

- 関する諸願
- 諸願第6号 町道の舗装について
 - 諸願第7号 簡易水道の助成に関
する諸願
 - 諸願第8号 簡易水道新設事業に
対する助成方諸願
 - 諸願第9号 町道の舗装について
諸願
 - 諸願第10号 町道の舗装について
諸願
 - 諸願第11号 入善町八幡2号線道
路整備並びに入善町横山青島用水
線道路簡易舗装について諸願
 - 諸願第12号 田茂川左岸海岸災害
復旧促進方諸願
 - 諸願第13号 簡易水道建設に助成
金交付方諸願
 - 諸願第14号 橋梁建設に関する諸
願
 - 諸願第15号 吉原漁協に収納代理
機関の指定について諸願
 - 諸願第16号 簡易水道新設補助に
関する諸願
 - 諸願第17号 簡易水道新設補助に
関する諸願
 - 諸願第18号 イレフレによる産民
貯金の目減りを国に賠償させる決
議を要請する諸願
 - 陳情第1号 し尿汲取の適正料
金について陳情
 - 陳情第2号 木ノ根海岸堤防の災
害復旧について陳情
 - 陳情第3号 旧入善町商工会館存
置方について陳情



樺沢議員

交通行政の再検討が

必要でないか

一入善町職員の給料は必ずしも高くないと思われる。大幅に改正する意志はないか。
二交通行政の将来の展望について構想をききたい。

町長 一、年令的区分をした場合低いところもあるが全体的には県内市町村平均よりもむしろ高額である。しかし今後も引つづき検討の上、向上させて行きたい。
二快速電車の運行については専門家の意見もきき、国鉄当局と交渉したい。

○駅前駐車場は金沢管理局の正式了解を得ている。但し一部の場所について交渉を要する点があるので今少し時間をかける必要がある。駅前都市計画道路は今直ちに実施しないが、中央通りの整備完了後に実施したい。
○地鉄バスの存廃は企業の問題であるが町民の生活に結びついてるので廃止しないよう交渉する。
○通学道路などを含めて町営バスの運行は考えていない。

第三回

町議会定例会

(昭和四十八年十二月十八日)

提出議案

- 議案第六十七号 昭和四十八年度入善町一般会計補正予算(第四号)
- 議案第六十八号 昭和四十八年度入善町国民健康保険特別会計補正予算(第三号)
- 議案第六十九号 昭和四十八年度入善町簡易水道特別会計補正予算(第二号)(可決)
- 議案第七十号 昭和四十八年度入善町土地取得特別会計補正予算(第三号)
- 議案第七十一号 昭和四十八年度入善町分譲宅地特別会計予算
- 議案第七十二号 入善町特別会計条例の一部改正について
- 議案第七十四号 入善町国民健康保険条例の一部改正について
- 議案第七十四号 新規土地改良事業計画について
- 議案第七十五号 字の区域の変更について(青木地区、門山地区)
- 議案第七十六号

字の区域の変更(廃止)調書の一部訂正について

議案第七十七号 昭和四十八年度における期末手当の割合等の特例に関する条例制定について

請願・陳情
○請願第16号 町道の舗装について請願

請願第17号 町道の舗装について

請願第18号 入善町養豚組合の振興助成に関する請願

請願第19号 簡易水道の助成に関する請願

請願第20号 簡易水道の助成に関する請願

請願第21号 簡易水道新設事業に対する助成方請願

請願第22号 1月2日、3日ならびに祝日の郵便配達廃止に関する決議採択についての請願

請願第23号 物産異常高騰に伴う救済対策についての請願

請願第24号 酪農組合施設近代化に対する助成方請願

陳情
○陳情第13号 離岸堤設置に関する陳情

陳情第14号 舟揚斜路設置に関する陳情

陳情第15号 簡易水道新設事業に対する助成方陳情

陳情第16号 児童遊園地の設備充実方陳情

表紙「題字」

現在入善高等学校教諭

岡田 益 子先生

昭和十年十二月十三日生

昭和二十九年三月

県立魚津高等学校卒業

昭和三十三年三月

東京学芸大学書道科卒業

昭和四十六年、四十七年連続日展に入選

ご存知

ですか

請願は憲法第十六条による国民の権利であり地方自治法第二二四条の規定によれば議会の請願しようとするものは議員の紹介により議会に請願書を提出しなければならぬと規定されている。住民がその団体の事務について議会に願望がある場合議員の紹介によって請願書を提出する制度である。請願書はその議会の提出し採択されたときは執行上の権限のある長その他執行機関に送付することになる。議会が採択したものであっても、一〇〇パーセント執行されるとは限らない。

固定資産評価審査
委員会委員に
鬼原勝次氏選任

編集後記

昨年十月皆様の期待を担って、新しい議会が構成されました。議会は総合計画達成に向けて意欲満々で活動しております。

このたび創刊された「議会だより」が、町政全般にわたる住民参加の窓口になることが出来れば、これ以上よろこびは有りませぬ。どうぞ活発な御批判御指導をお願い致します。

入善町議会だより編集委員会



議会事務局編集風景